

第3回 県立病院跡地利活用懇談会
議事要旨

日時	平成29年10月5日(木) 13:30~16:20
場所	ホテルニューパレス 2階 あおい
出席者	委員 6名(全員出席) オブザーバー 2名(全員出席) 会津若松市 企画政策部 企画調整課 4名 株式会社日本経済研究所 社会インフラ本部 2名
配布資料	・次第 ・第3回 県立病院跡地利活用懇談会 出席者名簿 ・資料1 県立病院跡地利活用ワークショップ

I. 出席者

1. 委員

No.	氏名	所属団体等	備考
1	市岡 綾子	学校法人日本大学工学部建築学科 専任講師	建築・まちづくり
2	佐瀬 良一	会津若松市スポーツ推進委員会 理事長	スポーツ・健康
3	竹内 樹美	福島県建築士会会津支部女性委員会 委員長	建築・保存・デザイン
4	寺内 秀也	会津若松商工会議所 専務理事	商業・金融
5	松浦 久美	Like 会津実行委員会	まちづくり・協働
6	山口 巴	特定非営利活動法人Lotus 理事長	福祉・子育て

2. オブザーバー

No.	氏名	所属団体等	備考
1	小林 真司	会津若松市国際交流協会 事務局長	国際交流・インバウンド
2	小荒井 俊行	株式会社エフエム会津 取締役	コミュニケーション・情報

II. 懇談会

1. 開 会

2. 座長あいさつ

(座長)

今日は、皆さんと同じ机をかこんで話せることが楽しみ。ここで良いアイデアをみつけて、今日の成果を次につなげられればと思う。皆さんも自由に発言をお願いしたい。

3. 議 事

(1) 県立病院跡地利活用ワークショップ

(事務局)

ファシリテーターは運営支援の日本経済研究所が行う。

(ファシリテーター)

それぞれの方の想いを共有するように 思いの共通部分をピックアップして共通項をみつける、違う部分を見つけてという作業を行い、本懇談会の意見書につなげたい。

※ファシリテーターよりワークショップの手順説明、発表順は挙手制

※発言のなかからキーワードを付箋に書き出し、目的、機能、施設別に分類（ホワイトボードに貼り付け）

①各委員・オブザーバーによる提案書の発表

(オブザーバー発表)

- ・ テーマとして、暮らし・にぎわい・交流という3つのテーマで施設を考えてみた。
- ・ 名称：未定（複合型商業・公共施設）商業施設と公共施設のあわせた複合型施設が望ましい（施設手法や建築規制については不得手につき割愛する）
- ・ 目的：商業施設を中心とし、にぎわいと雇用の創出につなげていきたい。また、公共施設ということで、文化・学習・公共サービスを提供して、多世代、多くの世代に利用できる、交流できる施設を目的とする。
- ・ 機能・内容：
分散型ではなく、1つの建物であらゆるものが解決する一体型の施設とすることで、多目的の人々の（多世代）交流や回遊性が促進される。
商業施設部分は、①地元資本の流通基幹店を中心に複数のテナント、衣食住を含めた複数のテナントで構成する。
公共施設部分は、稽古堂が高稼働率で駐車場不足が課題であるという点を踏まえて、稽古堂の学習機能、生涯学習機能を分散化したらどうか。生涯学習施設を分散化して、アクティブシニアを中心としたにぎわいをつくる。
②ハローワーク機能の分散化
②赤十字血液センターを移転する。
④認知症カフェ機能を設置し、そういった高齢福祉の部分のケアをする（要託児所等）
⑤城や東山温泉に近い位置なので、当然地域の物産、観光案内も併設する観光交流施設的なものも設置する。

⑥その他、屋上の活用案として、駐車場、フットサルコート等検討してみるのはいかがでしょうか（施工や冬期間の暖房等の問題もある）。

（質疑応答）

「交流」の意味する範囲について

→ 市民の多世代間交流が第一であるが、城などが近いという立地柄、観光客の来場も見込まれるので、自然と外部との交流も生まれてくると考える。

建物部分以外の余剰地はどうするのか。

→ 基本的には駐車場である。但し、建物の屋上も駐車場として活用できるのではないかと。他に、子どもの運動の場としてフットサルコートが考えられるが、全天候型にする等の採算性も考えないとけない。

稽古堂の分散化でイメージする施設は、図書館機能を移転か。

→ 稼働率が高い生涯学習機能（キッチンや音楽スタジオ）を想定している。図書館は蔵書が分かると問題になりそう。

（オブザーバー発表）

- ・ 名称：未定（但し、楽しく、わくわくさせ、行きたいと思わせるネーミングが良い。人が呼びやすい、語呂の良い名前。同じ単語を繰り返すようなものなど。）
- ・ 目的：①その場所が常に賑わっていること ②その賑わいの中で楽しめること
- ・ 望ましい施設：①四季それぞれを楽しむことができる
会津のはっきりとした四季に注目。冬場の雪等は逆手にとってイベントやキャラクター化してしまう等が考えられる（新潟県の安塚町で実際に長所に変える取り組みを行っている）。会津でも活かせるのではないかと。
②あらゆる時間帯（朝・昼・晩）を通して人が集う
- ・ 機能：
①色々なものを見ること、体験（スポーツ、文化問わず）することができる。世代や国籍なく交流できることが望ましい。市民が楽しんでいけば、市外からも関心と呼べるのではないかと。
- ・ 全体として、自然との共生がテーマとし、子供が自然と触れ合えるような空間を提供する。それを囲むようなカフェを設置、また、鶴ヶ城との調和がとれると良い。
- ・ 会津らしさの伝わる、自然に近い（できれば木造）雰囲気のある建物とする
- ・ デザイン：子供向けスペースは（一部でもいいので）子供たちのデザインを取り入れることで、愛着を持ってもらうことにつながる。また、文化・スポーツ等の体験の場も市民が参画して作っていただけると良い。電話で予約できて、気軽に利用できる場所が必要。
- ・ 飲食スペース：常設型に加え、マルシェや屋台など、試験的な出店もできる場所とすれば良い。
- ・ 娯楽：①伝統文化の継承に役立つ施設。会津の伝統文化を（内外に）伝える、世代間で文化を伝える。
②映画館…市民意見でも世代を超えて多い。在住外国人の要望で圧倒的に多い。
- ・ キッズスペース：通年で自由に、安全・安心に遊べる施設の要望は日本人・外国人問わず多かった。
- ・ フリースペース：他の施設に囲まれる形で配置し、イベント開催等に使用できる。レイアウトの柔軟性があると良い。

- ・ その他：多世代で交流してもらおうということがメイン。高齢者が将棋を打っている脇で子供たちが遊んでいるようなイメージの空間があれば、自然と交流も生まれる。機能として必要なものを入れてみたが、レイアウトについては色々と意見を反映させていきたい。

(質疑応答)

- ・ 体験スペースはスポーツを行う場所というイメージで良いのか。
→ 空いた時間に自ら何かを自由にできるスペースを考えている。簡単なスポーツ、将棋、ダンス、等。通りがかった人が参加できるようなイメージである。
- ・ キッズスペースは全天候型か。
→ 屋内・屋外どちらも備えていると良い（子供たちに、自分達が遊ぶ砂場を作らせてみては、という意見もあった）。
- ・ 賑わい、楽しみ、イベントを開催、スポーツの体験、映画館と伝統文化の継承等、多機能が盛り込まれた施設というイメージで合っているか。
→ 提供する側が全て決めるのではなく、規制を少なくしてある程度利用者に自由度がある方が良いのではないか。

(委員発表)

- ・ 名称：未定（生涯学習センターの機能移転施設に併設する子どもの遊び場と専門学校施設）
- ・ 目的：子供から高齢者、そして、若者まで楽しめるスペース。市民全体、要望の全体としては、現在の稽古堂の機能の強化に集約されていると考える。
- ・ 機能：強化したい機能として、稽古堂、図書館の拡充、コンベンション機能、子供の遊び場、高齢者のカルチャー機能、若者の専門学校施設のスペース、若者たちのアウトドアのスペースを確保する。現在の稽古堂は新庁舎の分庁舎として再活用すれば効果的ではないか。
- ・ 外観特徴：上空から見た際に、建物や外構の形状が「A・I・Z・U」と読める形状にする。
- ・ A：3階建施設（1F：図書館で蔵書充実+若者の勉強のスペース。勉強スペースは稽古堂でも取り合いになっており不足している。2F：コンベンションスペースとし、他県の人にお金を落としてもらおう。3F：カルチャーセンターと専門学校スペースとし、若者の流出を防ぐため、地元で学べる場所を作る。）
I：子供の遊び場（点部分はハート形にし、山と砂場。棒部分は子どもの屋内遊び場にする。）
Z：芝生（若者がイベントを行う、遊ぶ、音楽、ダンスやスケボーを楽しむ、等。）
U：水遊び場として噴水などがあると良い。
- ・ その他の空いている部分に駐車場を設ける。
飲食スペースや映画館も作りたいが、盛り込み過ぎたので入れなかった。

(質疑応答)

- ・ 施設形状が斬新で、且つPR度が高い。ドローンなどが上空を飛びそう。
- ・ コンベンションスペースの活用内容は。
→ 千人規模の会議をイメージしている。大規模会議を誘致したいが、現在はアピオの大スペースぐらいしかないなので、できていない。国際会議等と呼び込めればよい。

- ・ コンベンションスペースはコンサートにも使えるのか。
→ コンサートは風雅堂でやるべき。
- ・ 学校、若者の流出を防ぐ、というのが新鮮である。
→ 参加している活動団体は若い人が多く、I ターンの人や、ずっと会津に住みたいというお友達、知り合いが多く、そうした人も増やすためにも学べる場所があると、若者の流出が防げるのではと思う。
- ・ 郡山の学生に福島に来た理由を尋ねると、修学旅行で来たことを挙げる人がいた。選択肢の 1 つとして、過去に訪れた経験のある地として会津若松市があるというのも、おもしろいと思う。

(委員発表)

- ・ 名称：集遊館（集い、遊べる）
- ・ 目的：市民や観光客がともに集える施設。
- ・ 機能：棟を複数に分けて屋根付きのオープンスペースを設ける使用にする。
 - ①東棟…公共施設。市内の体育館は（一杯で）予約がとりづらいため、自由に運動できるスペース、屋内展示、コンサートに対応できるスペースがあると良い。
低料金で気軽に使えるアスレチックジム。目安は河東総合体育館の 200 円/回。
防災用備蓄倉庫を備えれば、多目的スペースが避難場所となった時にスムーズに物資供給ができる。会津の中心地なので各所への運搬も可能。
（1 時間で回れるコースを紹介できるなど）ニーズに合った観光内容を紹介できる観光案内所。
 - ②西棟…民間施設。1 F はテナントと飲食（オープンスペースを活用したオープンカフェ等） 2 F は子どもの冬の遊び場と映画館。更に高層化するならばホテルや学校の誘致が考えられる。
 - ③北側に公園
 - ④南側に駐車場

(質疑応答)

- ・ 観光案内がこの場所にあるのは非常に良い。会津地域全体のことが、ここに来ればわかるというのが望ましい。食事処の情報が充実していると、観光客は助かるだろう（或いは同施設で食べても良い）。
→ 会津名物を食べる為に、あちこち移動しなくても、この施設に来れば食べられるということになれば便利。それに土産物なども買えるとなお良い。
- ・ どちらかと言えば市民向けの施設になるのか。
→ 市民と観光客を含めた「全ての人」である。
- ・ 会津若松市民は、映画を観るときに山形まで足を運んでいるが、市内に映画感があれば、近隣からの利用者等が、城もあるしちょっと寄ってみようか、というようなことも考えられるかもしれない。
- ・ この場所が交通と観光の結節点となり、周遊バス等が入ってくると良いのでは。
→ 市内のバスの停留所がここにもできれば、駅からスムーズに来られるのではないか。
- ・ こども広場のイメージは。また、利用料金は取るのか。
→ 遊具などを揃える程度にはしたい、また、親の目が無くても安心して遊べるのが理想。但し、公共と民間のどちらが提供すべき施設かは、判断しかねる。利用料金については、本来は無料が良い。
- ・ （発表者に問うべきことでもないが）子どもが遊べる場所の利用対象者の範囲は、どこまでを考えているか

(子どもだけ？親御さんも？ただ子供好き・賑やか好きな大人も？)。自身の頭に浮かんだのは大人にとっても何か楽しめると面白いと思った。

→ セキュリティーの問題で大人の立ち入り制限等は検討が必要になる部分もあるかと思うが、確かに大人も遊べればよいというのには同感。

- ・ 商業施設や映画館等も有って、皆が楽しむ場所なのだという印象である。

→ 自分がほしいと思う施設を考えた。

(委員発表)

- ・ 名称：思い思いに過ごせるパーク
- ・ 全体イメージ：NY のブライアントパークに行った時に、その使い方に感銘を受け、提案に盛り込むことにした。誰もが自由に集まって、思い思いに過ごすことができるという利活用の仕方が出来ないか。
- ・ ①芝生広場…ブライアントパークの芝生で行われるアクティビティにはほとんどスポンサーがついており、一般人は無料で利用でき（朝ヨガ教室、ブートキャンプ、グリーンマーケット、自由に弾けるピアノの設置（週 1 程度でセミプロの演奏会等もある）） 近くのカフェでコーヒーなどを購入して、思い思いに過ごす。こうした仕組みが会津若松市でできると良いのではないか。
また、冬はスケートリンクとして使えれば、滑る人もいと聞く。イルミネーションなども入れたら素敵ではないか。芝生広場の周縁には、ベンチ、卓球台、チェスなどのボード競技の盤面のみ（駒等は持参）を設置して自由に使えるようにすれば、時にイベント開催等もして、賑わうのではないか。
- ・ ②複合施設…ジム等の室内運動施設。ものづくり工房として DIY に使えるアイテム（ミシンや 3D プリンター等、個人では揃えにくいもの）を揃っている場所があれば、そこから会津らしい製品が生まれることもあるのではないか（会津木綿で何かを作る、陶芸に挑戦する等）。シネマコンプレックスは、福島県内には良質な空間の映画館が少ないこともあり、質の高い映画館の需要は若い人にもある。そこで、少しグレードの高い映画館を作ることで、県内の若者が小旅行気分で会津若松を訪れてごはんも食べていく、というスタイルが考えられるのではないか。
- ・ ③子育て支援施設…子どもの遊び場に加え、子育て中の親御さんが利用することで、そこでは少し目を離し、自分のことができる、という場所があると良いという話を、育児中の方から伺うことがある。ママ友が出来て気がまぎれる、年配者の知恵をもらえる、子育て情報を得られる等できる場所であれば良いのではないか。周辺の保育園、幼稚園や公園などと上手く連携が図れると良い。
- ・ ④駐車場…芝生を充実させると駐車場面積が制限されるので、地下駐車場を視野に入れている。J アラート発信時の避難場所としても使えるのではないか。

(質疑応答)

- ・ 市民の子供から大人まで思い思いに過ごせるというイメージが伝わる。
→ 中心はやはり市民と考えている。市民でにぎわってれば自然と観光客も入ってくるだろう。そうした人々でも参加できることが、まちの魅力になる。
- ・ ブライアントパークに集まる人は、どのようにしてきているのか。
→ 図書館の裏庭のような公園で、地下鉄も通っているので、それを利用してくる人が多い。駐車場は考えられていない。

- ・ 今やっているような、まちなかアートプロジェクト等、イベントのメイン会場等にすれば、且つ周辺も巻き込んで活性化につながるのではないか。
また、芝生の広場があると、様々な利用につながると思う。多くの芝生広場では、子連れでキャッチボールやバドミントンをする姿が見受けられ、自由に過ごせる場所というイメージがある。
→ 小さい子が走り回っているようなイメージ。但し心配なのが、会津の気候で芝がきちんと育つかという点。このあたりは、屋根を半分かける等、対策があればと考えている。

(委員発表)

- ・ 名称：SAMURAI パーク（会津と言ったら鶴ヶ城と侍である）
- ・ 目的：観光客を真っ先に誘導してお金を落としもらい、会津若松市を豊かにする為、商業的要素が強い。
- ・ 全体イメージ：市民の様々な声を裏切りたくない、思いのたけを詰め込んでいる。建物自体は 4~6 階ぐらいになるかもしれない。A~C でテーマごとに分けて施設を建設する。
- ・ A（武道教育エリア）…市民が弓道や県道などの稽古で利用し、観光客が生でその様子を見学できる、更には体験もできる。そうした、観光と教育が合体したようなイメージである。託児所を完備、外国人雇用を推進して、英語も学び、グローバル感覚を養う、と言った子供たちの為のサービスが詰まった施設とする。
B（娯楽芸術テーマパークエリア）…全ての子どもたちを対象とした、また、世代間交流が図られるスペースとする。どんなテーマパークも飽きがることは避けられないが、ディズニー等の大きな企業でも、コンセプトが合致すれば連携ができる（協賛を得られる）という話を聞いた。上手く活用できれば、そして、小規模でも、ジブリ、ディズニー、USJ 等の要素を入れたテーマパークを入れたら理想だと思い、中央に据えた。
- ・ C（戊辰時代・会津の街並み再現）…^{にっしんかん}日新館をイメージし、入口に関所を構え、昔の会津の街並みを感じられる建物が連なっている。ご当地名物、土産物の提供、侍等がいて観光客が楽しめる、日光江戸村のようなイメージである。建設は行政が行うが、テナント方式として、会津市の店を入れることで、賃料を得られるようにすること、観光客には市民との交流を持ってもらうことが望ましい。
巨大なデジタルサイネージを置いて、周辺の飲食店等に人を流すような情報を提供する（この施設で観光客を独占しない）。
或いは、不動産会社を設置して、会津への移住や店舗展開に関する相談にのる、人口増加策に貢献するようなエリアとする。
その他…立体駐車場を完備すれば、限られた面積でも 3 エリア独立して建てるのが可能ではないか。運営については年中無休・24 時間営業で、場所と時間を使い切るような、一大商業施設のイメージである。
- ・ あそこが出来て良かった、と思ってもらえるような、お客さんが 1 人でも 2 人でも増えるような、会津若松市の「総合案内所テーマパーク」にできればと考える。

(質疑応答)

- ・ B のテーマパークは有料なのかもしれないが、有料であっても（相応のサービスが提供されて）子供たちが遊べるならば良いと思う。無料化は最初歓迎されても結局陳腐化してしまう危険性もある。
- ・ 機能としては、観光客が来て市民と交流できる、市民も観光客もテーマパークで楽しめる、武道教育、とい

う3つが主なところになるか。

→ そのようなことになる。また、市民生活が観光と一体かしてもおかしくないのではないか。そこでお金が生まれることもある。

- ・ 市民の日常を見せることでお金が落とされる、というのは、非常に良い。
- ・ 練習風景を見せるのが良い。観光客だけでなく、子どもが始めるきっかけとして、親が見せるのも良いのではないか。普段は中々気軽に入れないので。
→ 確かに用がないと、きっかけは難しい。
- ・ 東山の方では県が予算を持って外国人観光客になぎなたや剣道を見せる、城を案内する、といったことを試験的に実施すると聞いた。会津若松市も同様に、やはり見てもらう機会を作るのが良いのではないか。武士道の心というものを、現代の人達が受け継いでやっているのだということが伝わると良い。
- ・ 他地域の人に、会津人の人柄についても「会津らしさ」のイメージをもって訪れる人がいると聞く。それを示せるような（見学することで伝わる）施設が街中にあるのも良いと思う。
- ・ 羽生パーキングエリアが数年前にリニューアルされて建物も江戸っぽい雰囲気になり、先日行ったら忍者もいて観光客らと写真を撮っていた。奥には体験施設等もあったはず。
- ・ 観光客や修学旅行生等は、侍がたくさんいる場所なんてあったら面白がるだろう。

（委員発表）

- ・ 跡地活用の話が来た時から、イメージは美術館だった。あまり高い建物は想定しておらず、平屋かせいぜい2階建を考えている。
- ・ 名称：みんなが気軽に行けるアートな美術館
- ・ 全体イメージ：大人も子供も気軽に行ける公園のような施設。敷地中央に美術館を配置し、奥（北側）に駐車場を配置。
- ・ 目的：
- ・ 機能：①南側…芝生と展示物兼遊具を配置し、子供たちが自由に遊ぶ、観光客の興味を引く、という広場にする。
②中央の複合施設…
施設自体は有名な建築家に建ててもらえば、建築家や建築学部の学生が見に来ることが予想される。併せて美術館も観てもらえるのが理想。
子どもが遊べる施設を兼ねるものとし、芝生のある外と、屋内を自由に行き来できる。
カフェには自由に入ってランチやお茶ができる。外にも展示物と東屋（四阿、休憩所）が点在し、自由に気軽な利用ができる。
ホールは冬にはマルシェの開催に使えると良い。公共施設だと収益イベントの禁止など、色々規制が厳しいので、このホールを利用できるのが理想。
公園やホールが市民向けなのに対し、美術館は、市外の人を呼び込むツールになり得るということを最初に思いついた。1年中利用できること、お金が落ちる施設であることも必須だと考えている。金沢の21世紀美術館はそのまま移築してもらいたいぐらいの理想モデルである。
無料で行けるようなところに素晴らしい展示物があったり、優れた意匠の建物があったりすると、自然と人が多く集まる（建物を見に来る人、日常的に訪れて遊んだり、くつろいだりする市民、等）。

著名な建築家の藤森氏が建てた「高過庵（たかすぎあん）」という茶室は、宙に浮いたようなデザインとなっており、話題性が出ている。このような試みが会津若松市においてもできると良いのではないかと。

③北側…建物の大きさにもよるが、地下駐車場がほしい。防災拠点として、避難所を兼ねる。駐車場へのアクセス性の面からは、東側が入りやすいので、こちらも駐車場に利用する。

（質疑応答）

- ・ 「調理室」と書いてある場所は
→ マルシェをやる時にあると便利かと思い、入れた。親子で料理体験、等ができるのもよい。
- ・ 機能としては、1つが美術館、その他は、人が見学に訪れる建物やオブジェと、市民の方の憩いの空間、ということか。即ち、市民が楽しめること、特徴を持たせて外からも誘客できること、ということである。
→ そのようになる。
- ・ 美術館では、展示物は常設のみのイメージになるか。
→ 常設はもちろんだが、企画展示もないと人が呼べないだろう。会津らしさ（漆など）のある、歴史を象徴するものを展示しても良いかもしれない。
- ・ 資料のように、ここまで特徴があると確かに人が見に来るだろう。
→ その通り。好きな人はきっと来るだろう。
- ・ 駐車場からの動線計画は。
→ 駐車場から南側に抜けられるようにして、その通り抜ける通路を広めにとることで屋内のイベントスペースを兼ねる。民間手法の取り入れということも考えると、美術館・カフェ・ホール等の運営を、一括でなくても良いので任せるといったことが考えられる。

（委員発表）

- ・ 名称：サムライシティ「アイコン（≡アイツコンベンション）」センター
「アイコン」の語源には崇拜や憧れの的になるものという意味のギリシャ語「イコン」からきている。
- ・ 目的：①背景… H27 年度から毎年 1,000 人ずつ人口が減少していくという統計が出ており、経済活動の衰退が危惧される。それには、交流人口で当面補うことが有効と考える。その際に手早く取り組めるのはインバウンドを含む観光客誘致であり、中でも MICE（ミーティング、インセンティブ、コンベンション、エグジビション）の取組が重要であり、また、新たな雇用の場を創出し活性化を図る必要がある。
②会津というイメージを市民の側から発信していくことが必要である。武道教育が盛んになっているが、福島県には県立武道館が無い。武道及び精神的な資源を活用し、これらを市の宝として、取り組みや受け皿づくりをすると良い。
③会津大学の知を活かしたこどもの学び、遊びの場としてハード、ソフト両面で IT に触れられる、子供のための拠点を設け、「サムライシティあいづ」としての文武両道のセンターを形成する。
- ・ 機能：
①東側には土塁が残っているのでその延長上と考えられる北側は、土塁を再生するなどとして活かす。また、運動公園の広場にある人気の北欧型の遊具等を設置し、「わんぱく広場」とし、土塁と併せて 5,200 m²ぐらいの公園とする。
②駐車場は配置上、約 300 台分は確保する。

③多機能型交流施設として、コンベンション機能を備えたホテル等の宿泊施設や武道も可能なコンベンション向けメインアリーナ、サブアリーナ 1~3（道場でも良い）、インフォメーションセンター（施設利用市民も観光客も利用できる）、こどものものづくり館（子どもから大人まで、ICT に触れ、学び、遊べる）等を整備する。

- ・ MICE の中でもコンベンション需要が増える可能性があり、それに合わせて都市型宿泊施設も必要になる。インバウンドや国内からの利用者が、団体から個人参加に移行してきていることも後押しとなる。公共施設のみを入れたのでは採算が取れない為、宿泊施設によって収益を上げることが必要と考える。
- ・ それぞれ単独で建っているのではなく、互いにつながっていたり、地下空間に防災倉庫等が入っていたりしても良い。
- ・ 多くの植栽を施し、周辺の鶴ヶ城公園やつばくろ公園等と併せて緑の回廊の拠点として扱う。

（質疑応答）

- ・ ホテルが民間、アリーナやものづくり館、会議場、広場等は公共施設という分類で良いか。
→ 広場などは公園認定を受ければよい。アリーナについては、しっかりお金をとらないと回転しないと思うので、公共ではなかなか難しいのではないか。
- ・ 目的の一つである「交流」は、外から人を呼び込んでのイメージで良いか。
→ 必ずしもそうではなく、たとえばアリーナ等は、武道館としての利用を考えれば、利用するのは市民でもある。鶴ヶ城敷地にある武道場は老朽化が進んでいるので、こちらでその機能を果たせれば、というのもある。

②キーワードの分類・集約

（ファシリテーター）

委員のご発言の中から、キーワードを付箋に書き出し前面のホワイトボードに貼り付けてある。目的、機能、施設別に分類をしているが、今日は目的と機能の共通項をみつけられればと思う。

※ホワイトボード上の付箋をグルーピングしながら議論

（ファシリテーター）

共通の目的として、にぎわいが欲しい、各々が楽しみたい、交流（多世代、市内外、市民と観光客）したい、ということがある。子どもや教育など次世代に関わることも意見が多かった。雇用、商業、地元経済への言及も。また、冬対策の提案もあった。

観光案内はひとつのキーになる。避難所というのは、安全対策としてあるので、基本インフラとして必要。

（委員）

観光客の誘致や交流と、人口増加は別のように思う。地元で生まれ育ち住み続けるということではなく、外部から移住してくるような定住人口の増加もある。

（委員）

住宅案内の機能等か、いろんな話が出ていた。

（オブザーバー）

交流人口増加でもなく、若者の流出防止（人口減少防止）でもなく、もうひとつの枠。

（委員）

会津大学の知を活用して、就職口と雇用を生むという話は、会津独自の取組になる。しっかり入れておきたい。

(ファシリテーター)

目的の共通項として、にぎわい、楽しみ、交流、人口（増加）。交流は様々なパターンの交流があるということがわかる。また、雇用創出。

これらに対応する施設の機能としては、学べる、自由に遊べる、様々な使い方ができる。観光も、お城を見せるだけではなく、市民が何かをやっていることを見せていく、体験する等。冬でも使える機能を持たせていけばいいのではないかとあがっていた。この先は、具体的に、何ができる、誰ができるという具体的な話になる。今回は、それ以前のところで皆さんの想いが漏れていないかが大切。

(委員)

商業系の機能は細かく出ていたが、どのあたりに入るのか。

(ファシリテーター)

具体的な項目なので、(本日議論する目的や機能ではなく)「施設」のカテゴリーに入れている。テナントなど、詳細な意見が出ていた。

今後どのように考えるかだが、メイン機能とサブ機能のような組み立て方もある。メインは商業、サブは教育のように。今日はそこまでの議論はできない。

(委員)

インバウンドは観光客に入るか。

(委員)

交流人口増加に向けては、留学生を増やすという考え方もある。そうすれば、家族、親戚、そして友人等も訪れてくれる。

(オブザーバー)

観光客は住むパターンもある。

(委員)

観光客も修学旅行は長期で見込める。(一過性の)温泉観光客とは区別しないといけない。

(ファシリテーター)

交流のグループを細かくしないといけないということ。観光にも、一過性のもの、教育観光など長期的なものがある。留学生が来る、学んだ後に一度会津を離れるがまた戻ってくるということも。

(委員)

単純な移住もあるが、二拠点の住み方もある。会津に住んでも東京に家があって、週末は帰る。これからはこういった働き方が増えるのではないかと。交流人口にはこれらの人々も入るのではないかと。

(委員)

総合計画には、将来人口との記載がある。交流人口と将来人口は異なる。

(ファシリテーター)

将来人口を増やすことを目的とするか。

(委員)

本施設で将来人口が増やせる提案はなかった。

(事務局)

提案は、気づきを知ることが目的。ブレインストーミングの中で、提案になかったが追加でこれが必要ということを入れていきたい。最初の提案に縛られなくても良い。

単純に「交流」という言葉でまとめると、後々、各委員の考える「交流」が違ったということもある。そうならないように、しっかり話すことは意味がある。

(委員)

いろいろな市民が集うことを各委員が発言されていたが、その市民の中には、将来人口となる人々も含まれる。この施設に来ると誰かに逢えて、会津と縁ができるというニュアンス。会津でどういう生活（観光も含めて）を送りたいかが選べる、その情報がある。付き合い方、スキルを学べるという場所。このようなことを、各委員が言葉を変えて多様性を持って発言されていた。

(ファシリテーター)

観光客でもなく、純粋な市民でもない人の居場所ということか。

一旦、私どもで整理をし、案を作成する。次回 10 月 26 日に相談する。

(2) 追加的な研究・検討が必要な項目について

(ファシリテーター)

追加で調べておくべき事柄、検討するにあたって欲しい情報があれば、次回までに調べて情報提供する。

(委員)

建物の高さ制限はどのくらいなのか、建物でお城は見えなくなるのか。地下を掘れるのか。掘削した結果、医療廃棄物が出てきてしまうようなことはないか。

(事務局)

医療廃棄物は県にて除去作業を行っている。遺構は、県立病院の建っていなかった部分については埋まっている可能性がある。調査し、保存する必要性がないとなれば、活用の可能性はある。

施設を具体的に限定してしまい、後々、実現可能性がなくても困る。また、仮に P P P などの手法を取る場合には、民間の方の知恵を生かすために、役所が仕様を固めすぎないほうが良いと言われている。そのため、具体的な施設について議論を深めるよりも、ゆずれない「目的」「機能」を整理していただきたい。

この場でなくても、質問は電話・メールで事務局にいただきたい。

(ファシリテーター)

本日の議論を踏まえて、整理していき、次回ご意見いただく。

以上